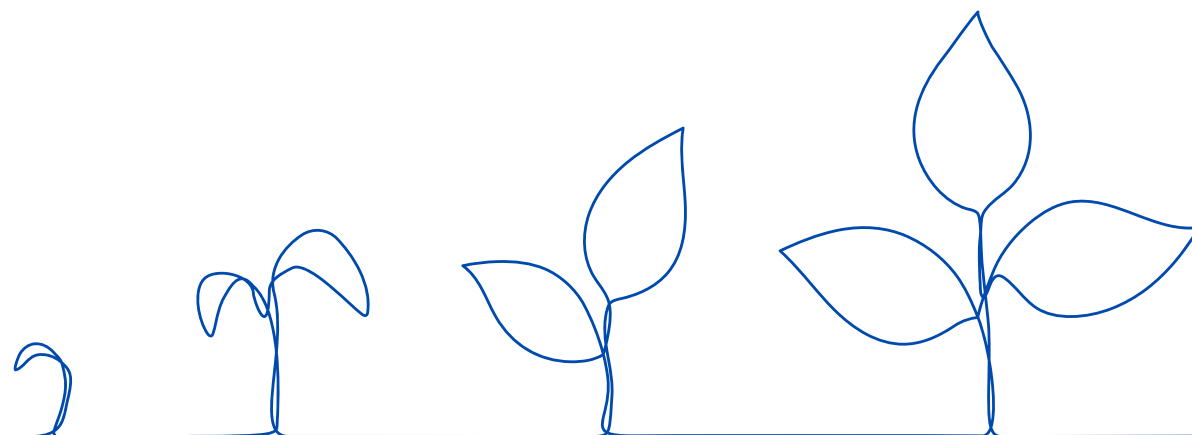




# 逆張り

## 基礎学習講座





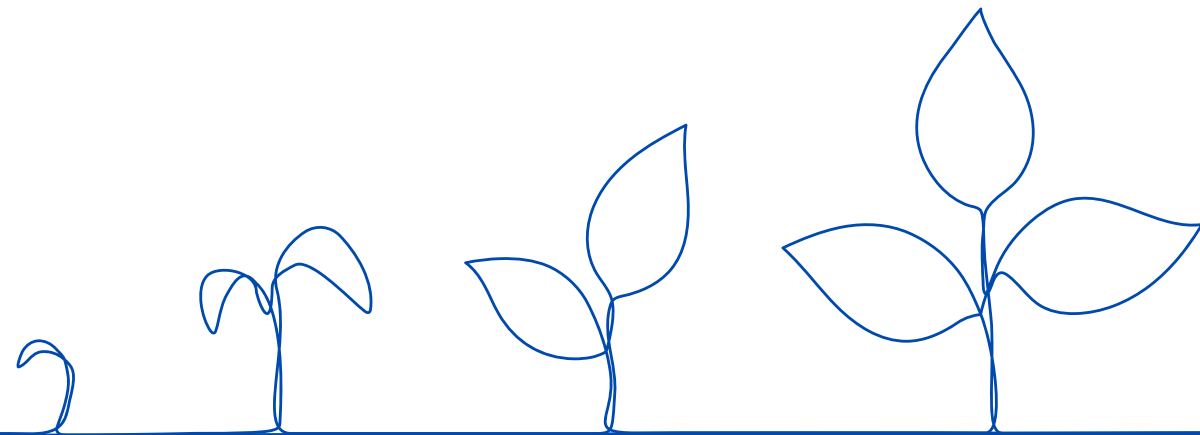
# はじめに



## 逆張りとは？

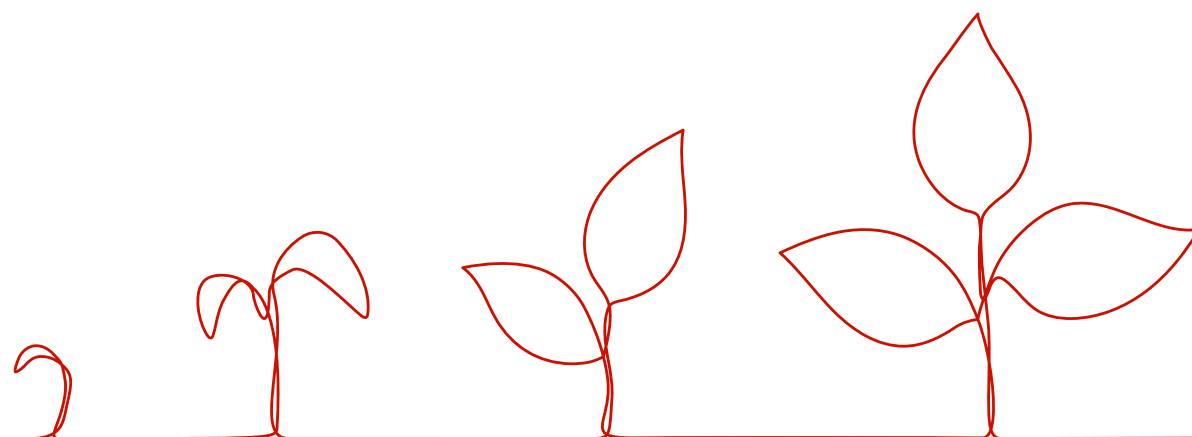
相場が上がっている時に売り、下がっている時に買うトレード手法です

そのため、市場が大きく動きすぎたと判断した場合、反発を狙って利益を得ることが可能です





# 逆張りの基本概念







# 逆張りの基本概念

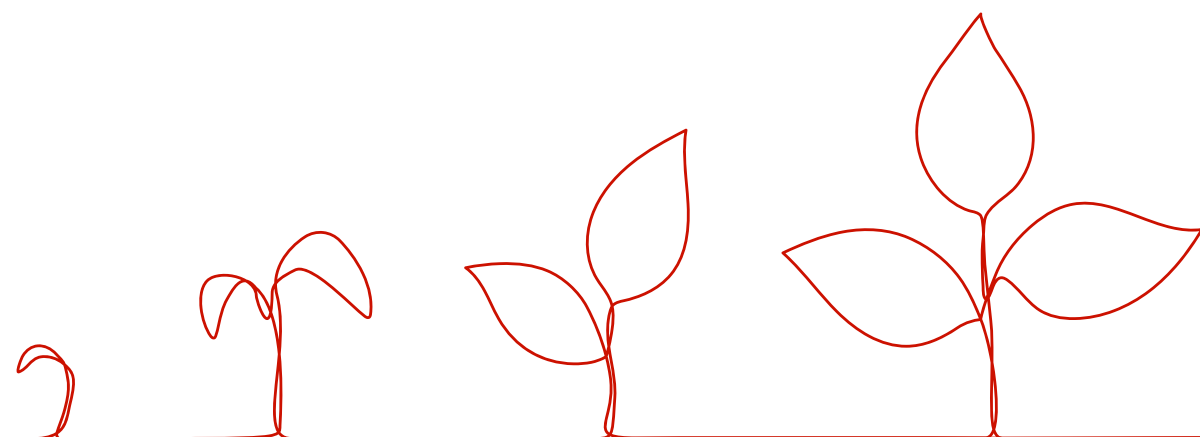


## 流れに逆らう

逆張りは、相場のトレンドに逆らってエントリーし、反発を狙うトレード手法です

上昇トレンドでは「売り」

下降トレンドでは「買い」を行います





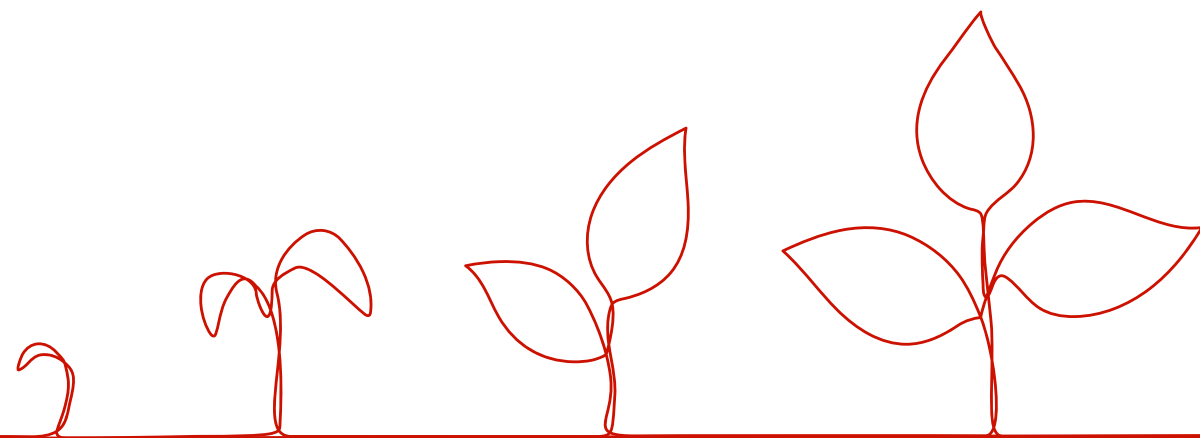


# 逆張りの基本概念



## 流れに逆らう

市場が行き過ぎた状態と判断した場合に  
適切なタイミングでエントリーすることで利益を狙います  
逆張りは次のような場面で活用されます



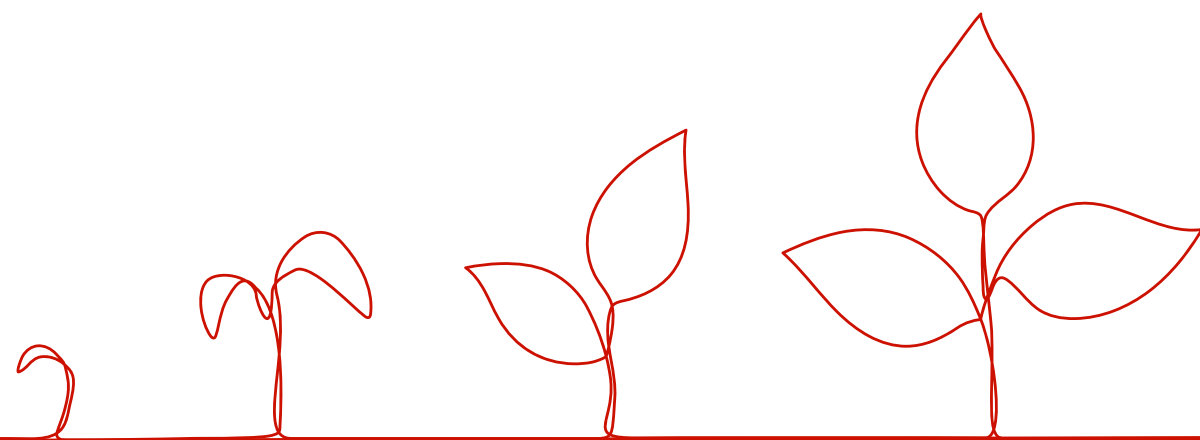


# 逆張りの基本概念



## レンジ相場

価格が一定の範囲内で上下する相場で、  
反発しやすいポイントを狙う



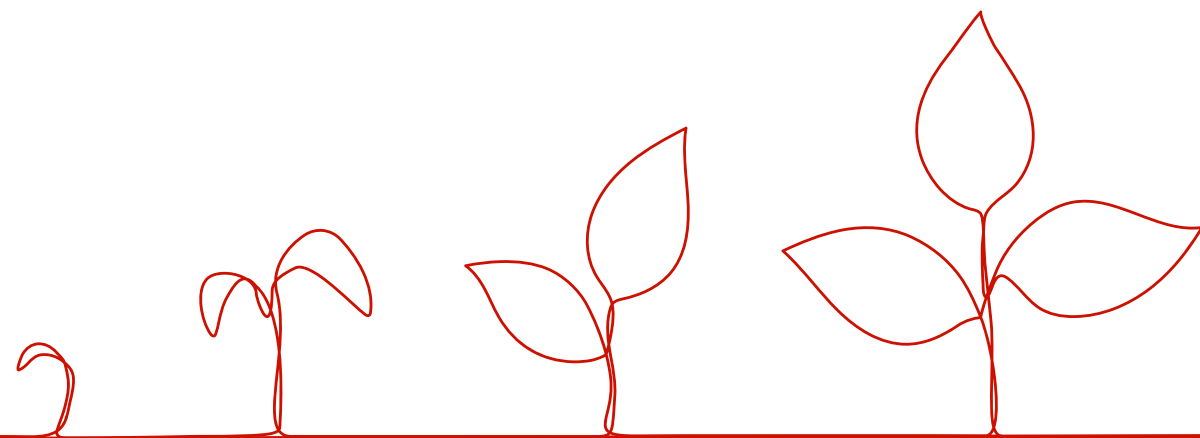
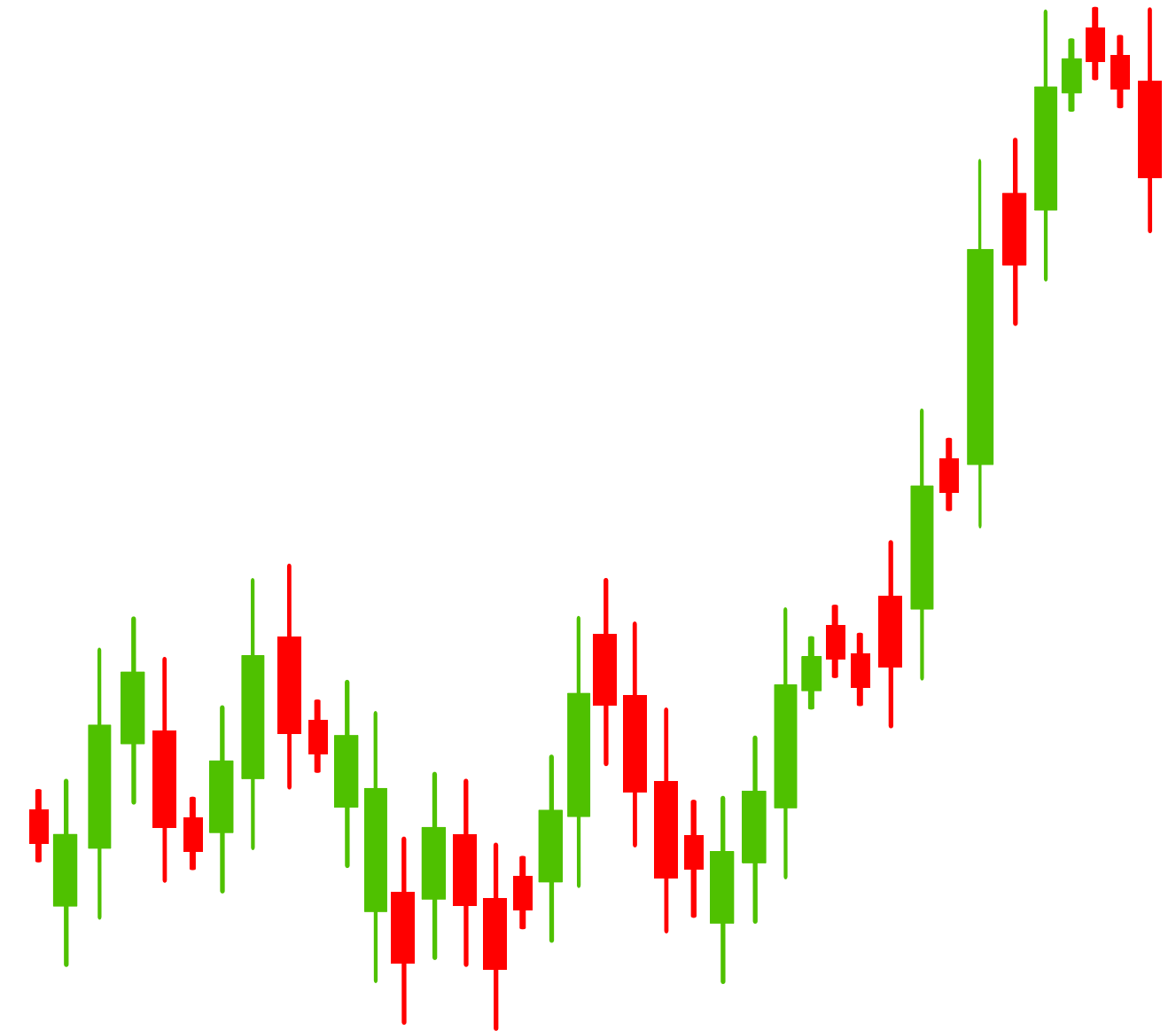


# 逆張りの基本概念



## 過剰に動いた後の反発

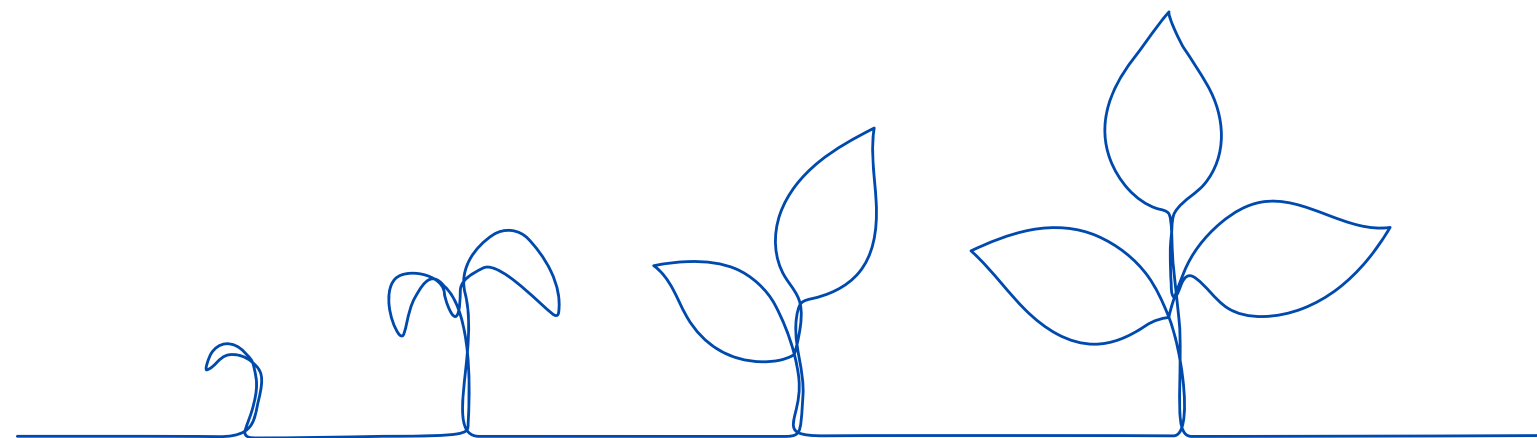
急上昇・急下落した際に  
一時的な反発を見越してエントリーします







# 逆張りのリスクとリターン





# 逆張りのリスクとリターン



## 逆張りのリスクとリターン

逆張りは、リターンが大きい一方でリスクも高く、相場が  
反発しない場合には損失が大きくなりがちです  
リスクとリターンを理解して使いこなすことが重要です





# 逆張りのリスクとリターン



## リターン

高い利益率:

相場の転換点を狙うため、利益が大きくなる可能性がある

短期トレードとの相性:

短期で利益を得られる場合が多く、効率的なトレードが可能







# 逆張りのリスクとリターン



## リスク

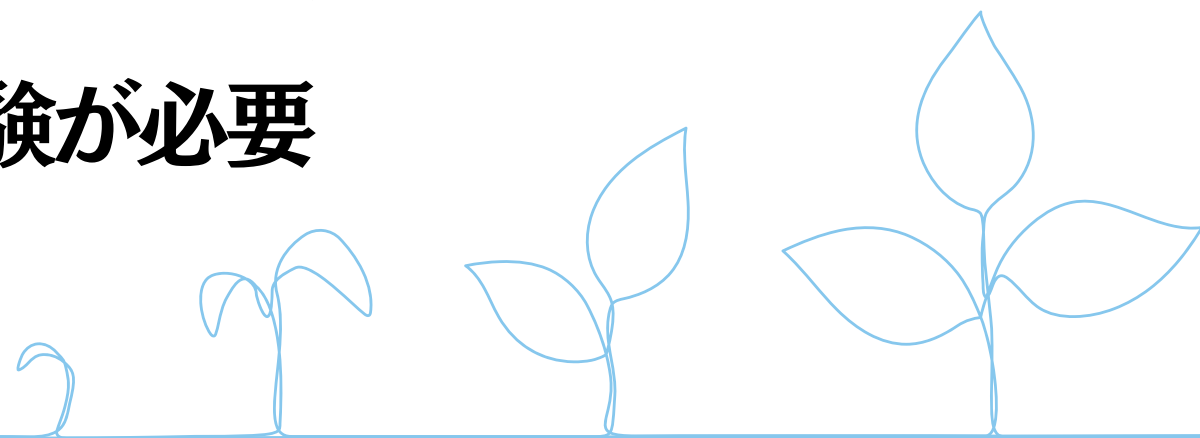
相場がさらに進行するリスク:

反発せずにトレンドが続く場合、損失が拡大

タイミングの難しさ:

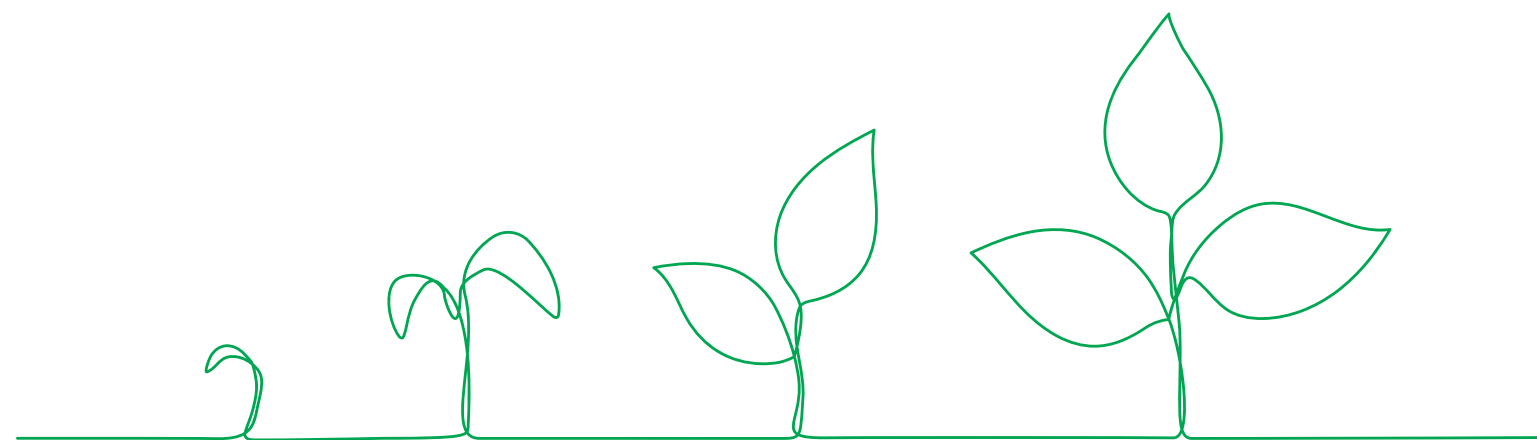
トレンドの終わりや反発のタイミングが読みにくく、

経験が必要





# 逆張りが有効な市場環境



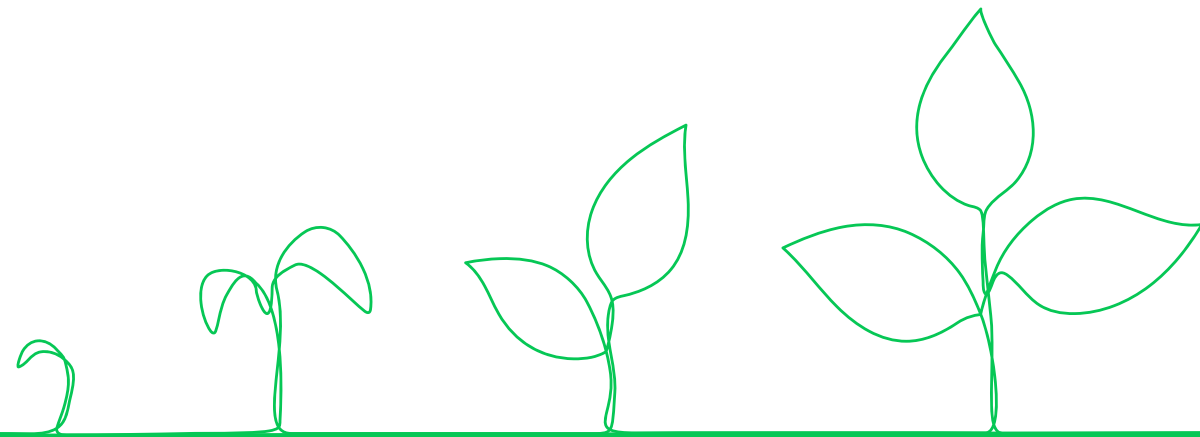
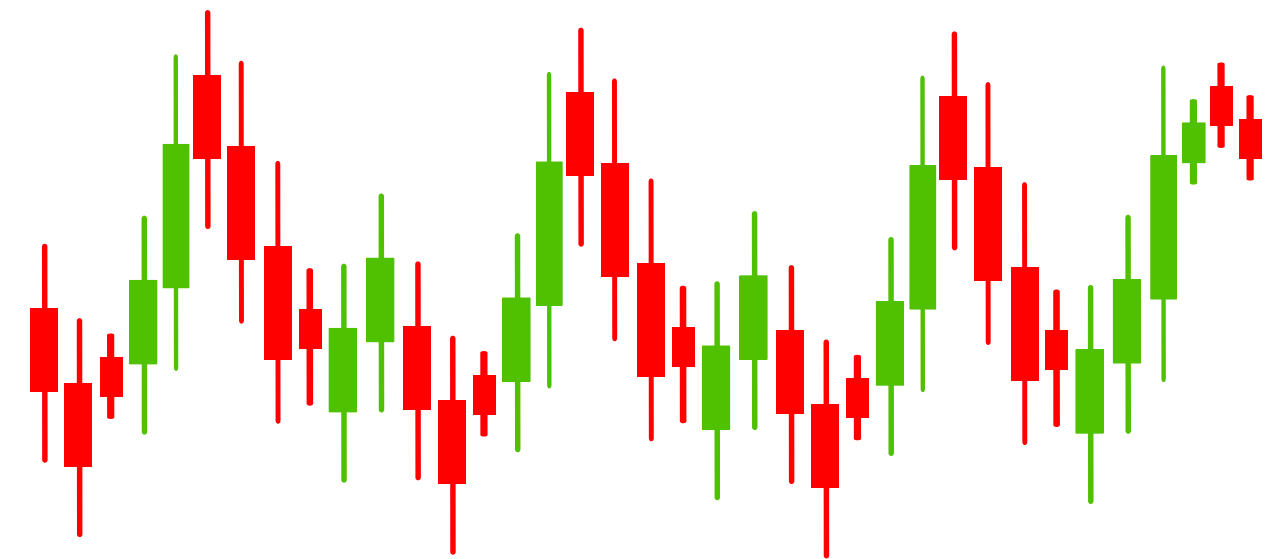


# 逆張りが有効な市場環境



## 逆張りが有効な市場環境

逆張りが効果を発揮するのは、相場が過度に上下  
しやすい次のような状況です  
特定の市場環境で逆張りの成功率が高まるため、  
判断材料として活用しましょう





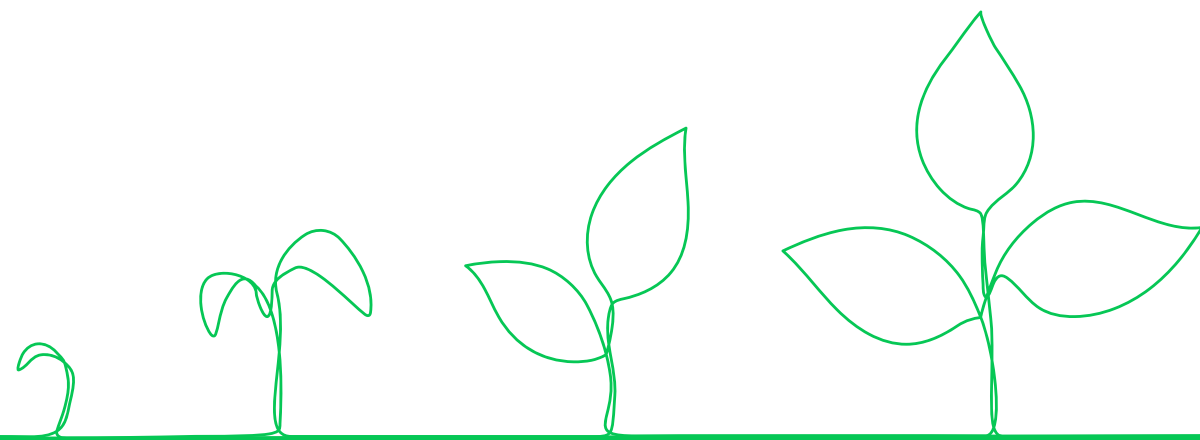
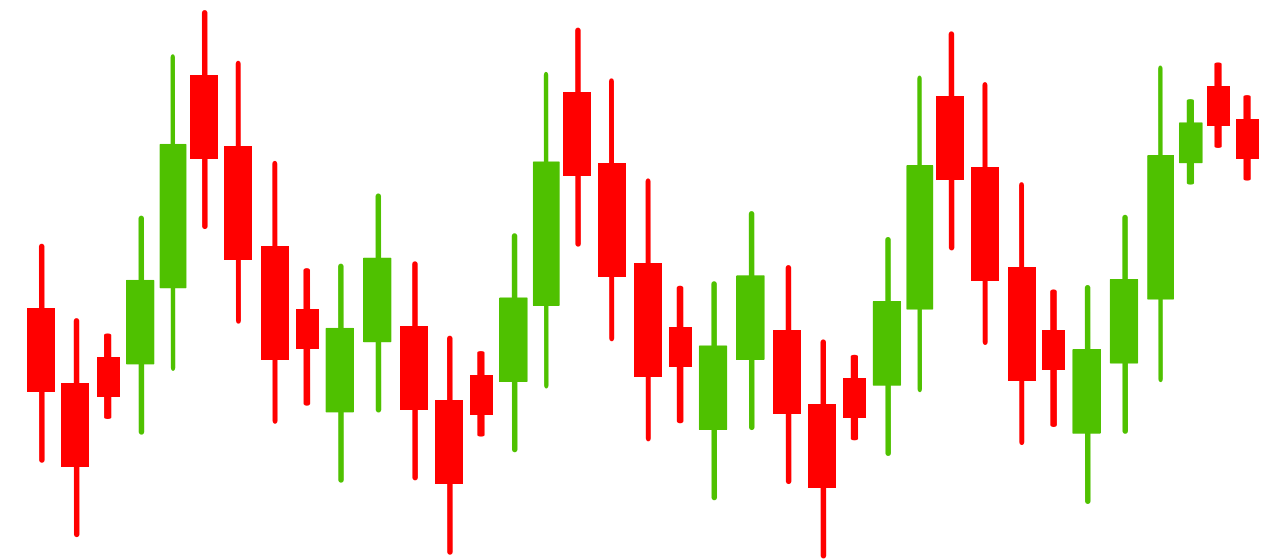


# 逆張りが有効な市場環境



## レンジ相場

一定の範囲内で価格が動くため、上限と下限で  
反発を狙う逆張りが適しています



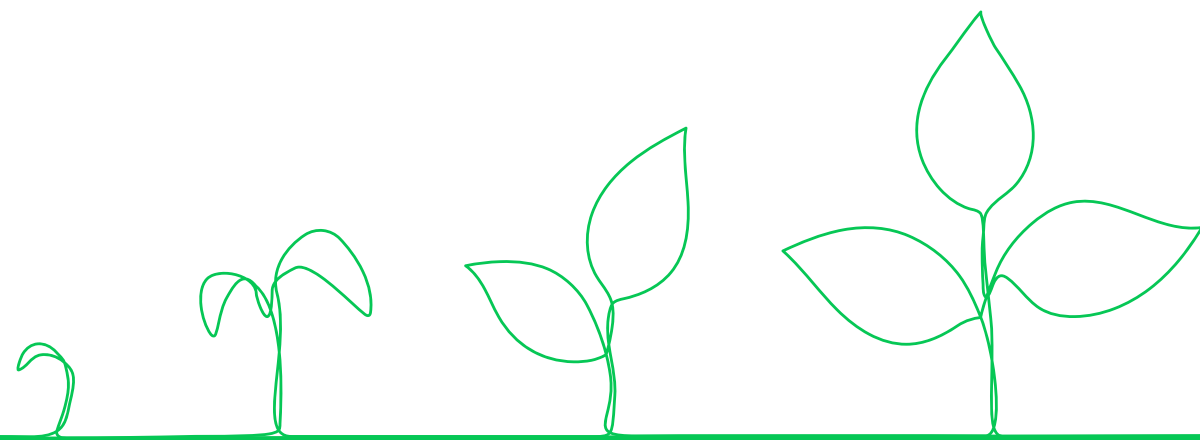


# 逆張りが有効な市場環境



## ボラティリティの高い相場

急騰・急落の後に反発する可能性が高いため、  
逆張りのエントリーチャンスが増えます



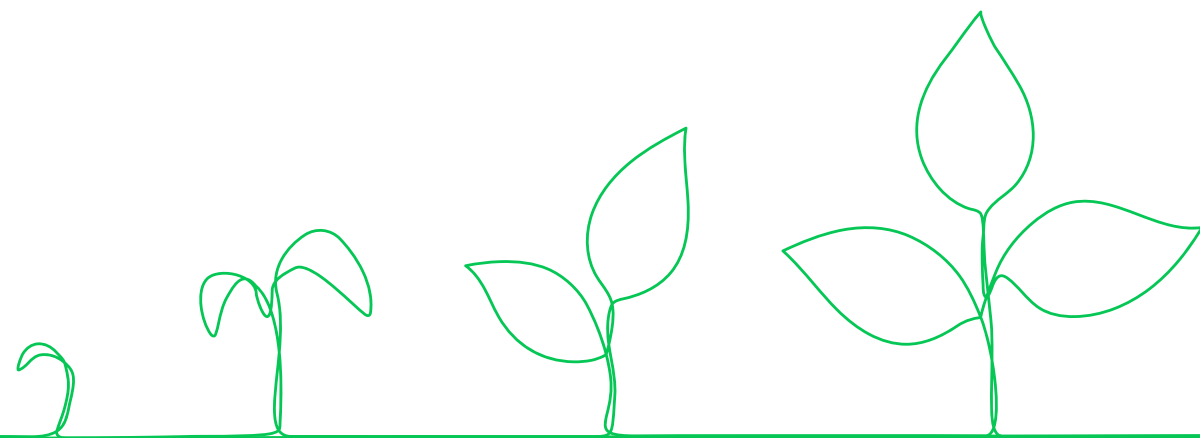


# 逆張りが有効な市場環境



## 重要指標発表後

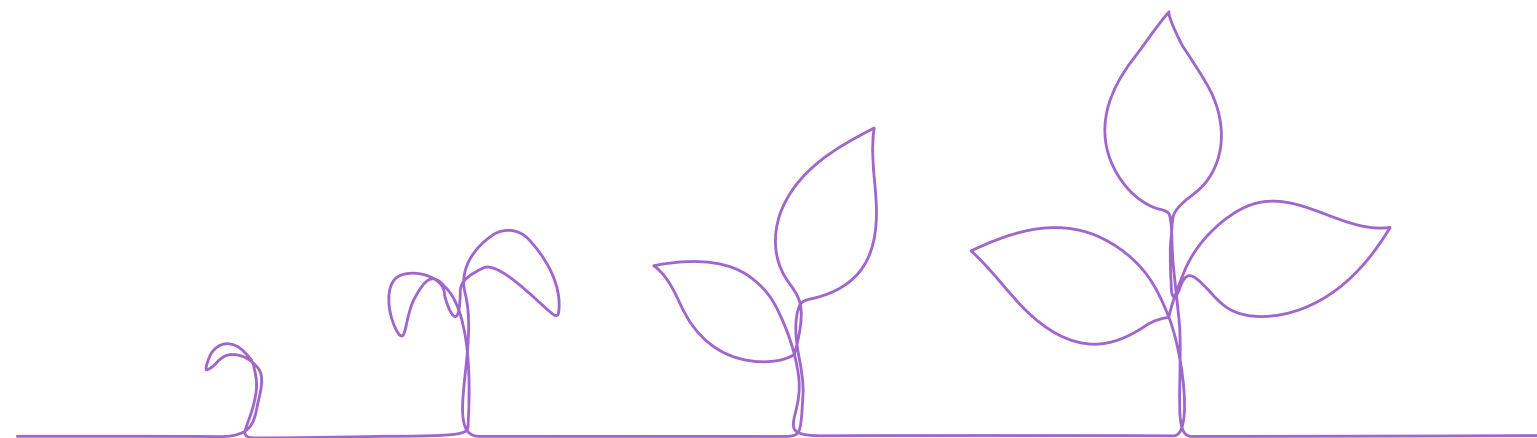
発表直後は一時的に相場が大きく動きやすい  
ため、反発を狙いやすい状況です







# 逆張りに使用される 主なテクニカル指標





# 逆張りに使用される主なテクニカル指標



## RSI(相対力指数)

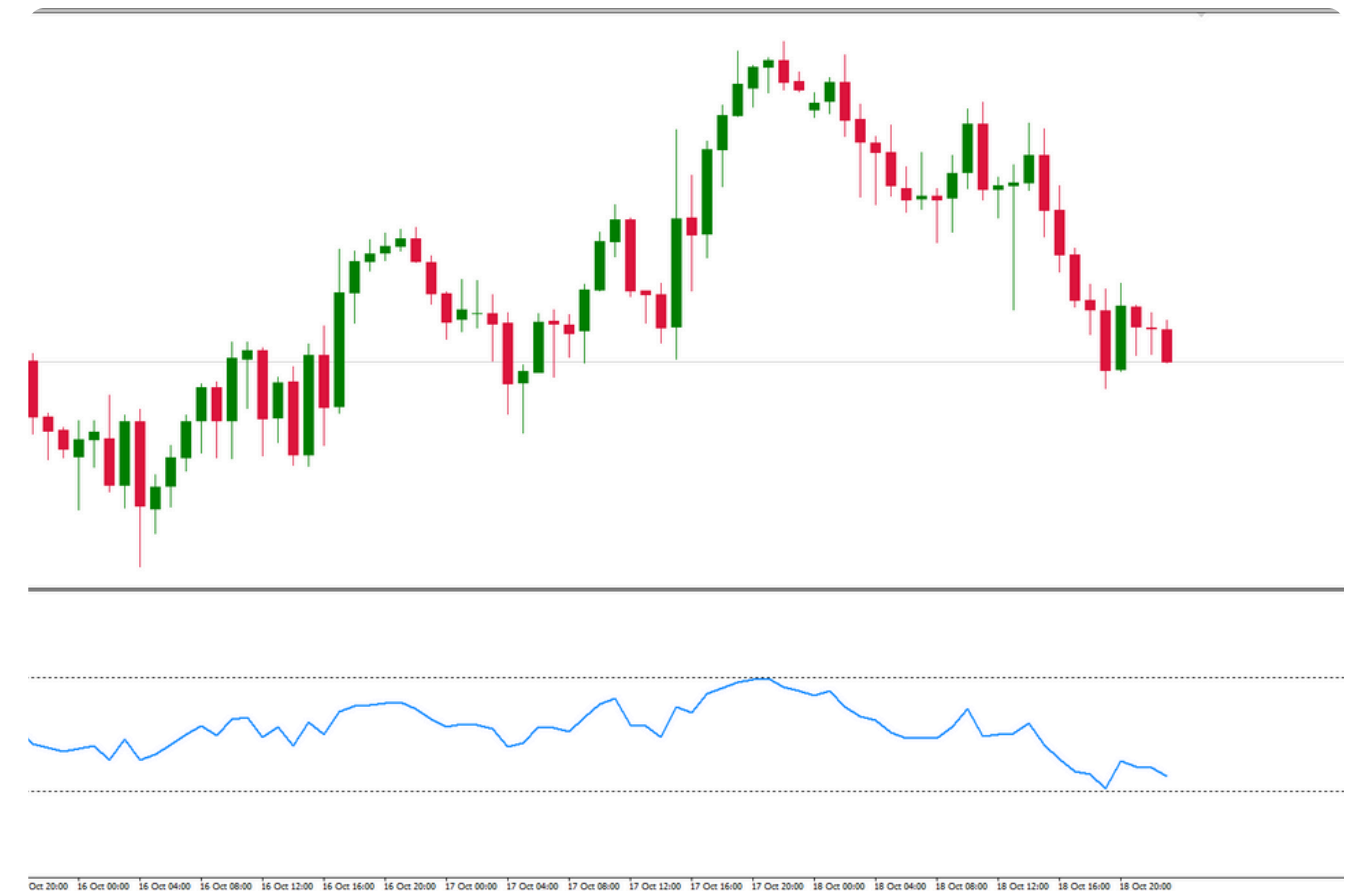
役割:

買われすぎ・売られすぎを判断する指標

一般的に、70以上で売り、30以下で買いのシグナル

使い方:

RSIが70以上のときは「売り」、30以下のときは「買い」  
を検討します





# 逆張りに使用される主なテクニカル指標



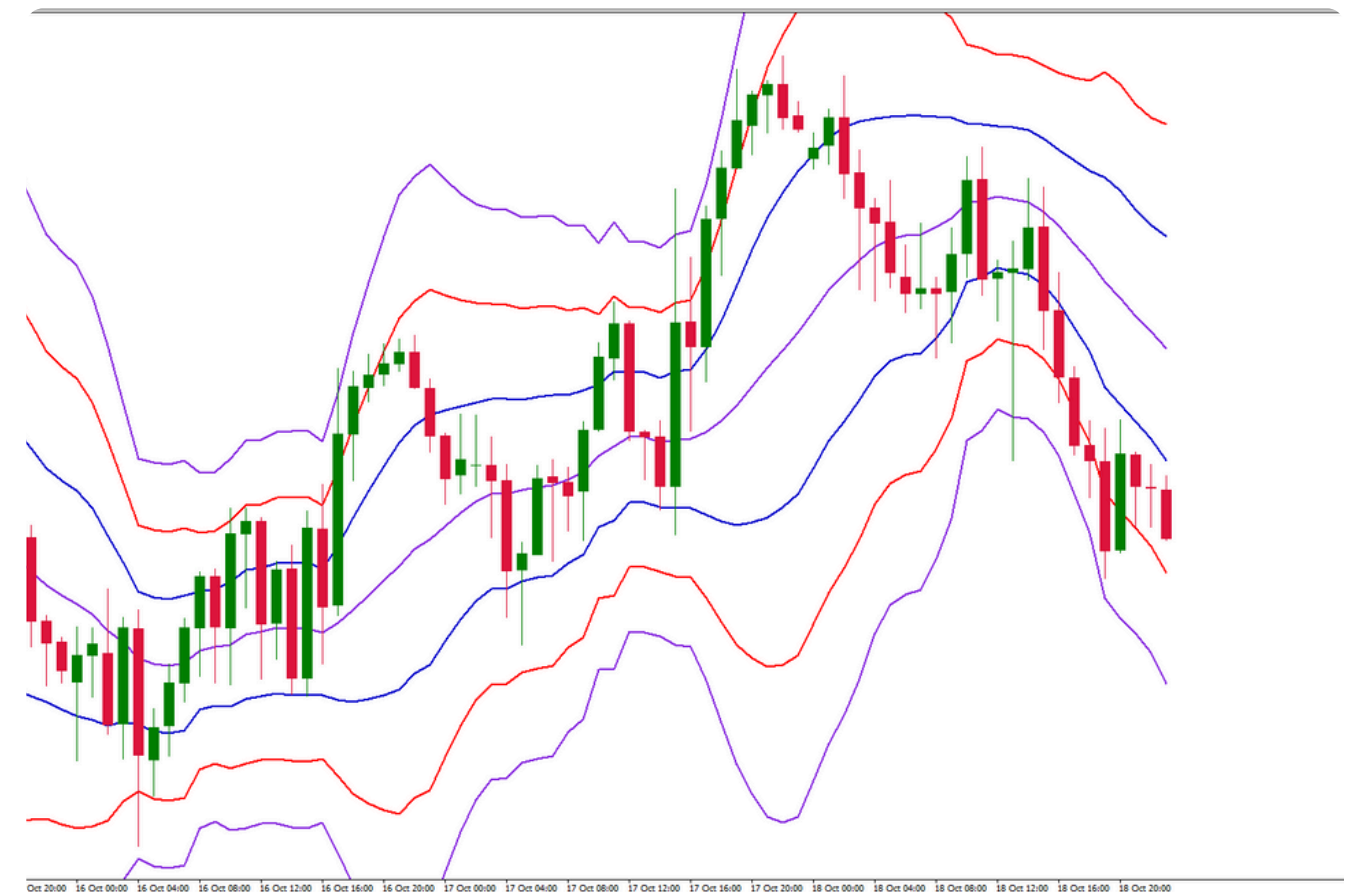
## ボリンジャーバンド

役割:

価格の標準偏差を基にした指標。ボリンジャーバンドの $\pm 2\sigma$ を超えた場合、行き過ぎのサインとされる

使い方:

価格がバンドの上限に達したら「売り」  
下限に達したら「買い」を検討します







# 逆張りに使用される主なテクニカル指標



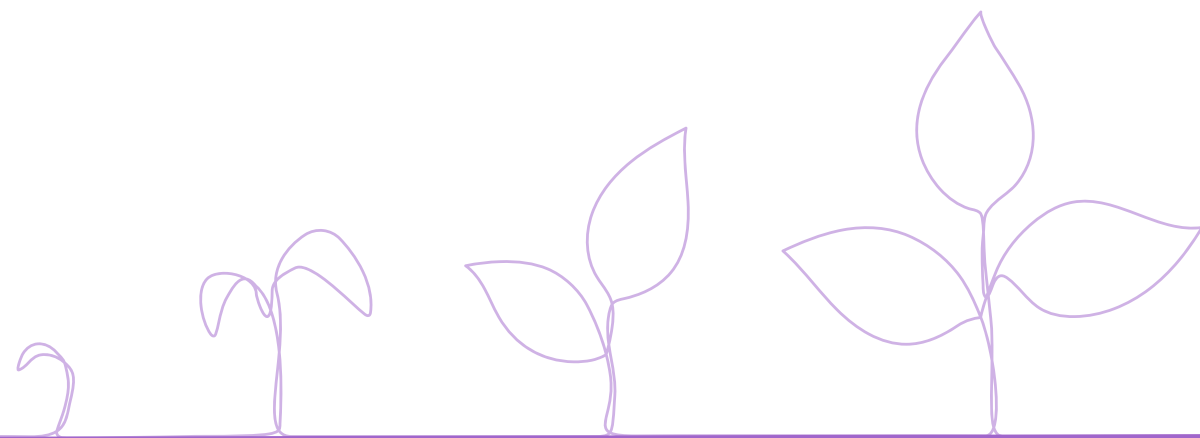
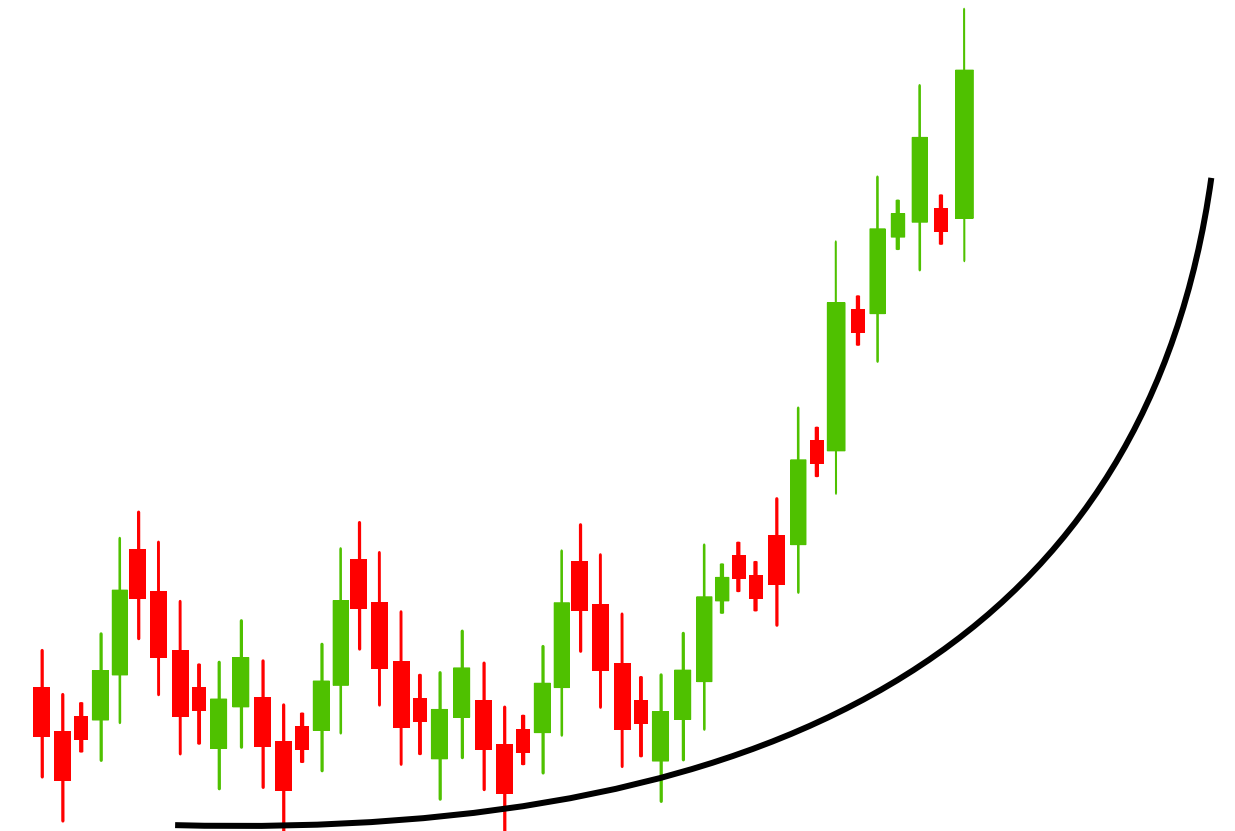
## 移動平均線乖離率

役割:

価格と移動平均線との乖離率を示し、過剰な動きを判断

使い方:

価格が移動平均線から大きく乖離した場合、反発の可能性が高いとされ、「売り」または「買い」を検討します





# 逆張り成功のための実践ポイント





# 逆張り成功のための実践ポイント



## 明確な損切り設定

損切りラインを設定:

逆張りはリスクが高いため、エントリー時に損切りラインを設定することが必須です





# 逆張り成功のための実践ポイント



## ポジションサイズ管理

リスク資金の把握:

トレード資金の1~2%にリスクを抑えると、連続損失が出ても資金が守られます

ポジションサイズの計算:

リスクに応じたロットサイズを設定し、無理なエントリーを避ける







# 逆張り成功のための実践ポイント



## エントリーポイントの厳選

複数の指標を使う:

RSIやボリンジャーバンド、移動平均線など複数の指標が逆張りのサインを示した場合のみエントリー

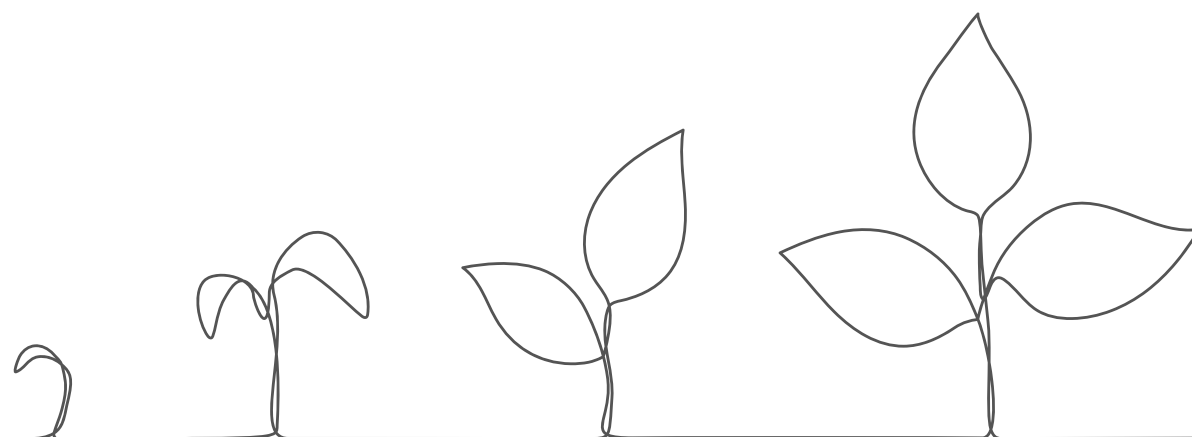
焦らず待つ:

逆張りではタイミングが重要です。複数の根拠が揃うまでエントリーを控え、確実なシグナルを待ちます





# まとめ





# まとめ



## まとめ

逆張りはリスクとリターンのバランスが取れたトレード手法ですが、経験と判断力が求められます

逆張りの基本概念から有効な市場環境、主要なテクニカル指標、そしてリスク管理のポイントを押さえることで、安定した成績が期待できます

Summary



プロトレーダーを目指す者が本気で磨ける場所



知識は力に! 検証は武器に! 学びを仕組みに! 勝ちを習慣に!